

附屬書院

中

第129868

第7門

内閣
大正八年四月二十五日
八月廿八日
八〇号

駐政務局ノ第三課
一〇

大正八年四月二十五日

高橋内閣書記官長

幣原外務次官殿

小橋内務次官殿

犬塚農商務次官殿

時局ニ関シ田中岩太郎外子五名請願書

右貴省主管ノ件ニ付及回答候

内閣

MT 11246 000777

REEL No. 1-0067

0470

外
内
書
名

時局ニ關スル請願書

岡山縣小田郡大井村大字東戸

提出者

田中岩太郎

外

名

第
二
八
〇

MT

11246 000778

REEL No. 1-0067

0471

請願書

要旨

一 吾人国民ハ外交ニ關シ我國ガ正義人道ヲ基トシテ世界ノ平和維持シ人類ノ福祉ヲ増進シ最モ高尚ナル新思想ヲ實現セシムル賢明ナル講和委員主張ヲ尊重スルモノナリ故ニ我等国民モ亦正義人道ヲ大ニ尊重擁護スルモノナリ或ハ之ニ反スル行動ヲ採ル者アリカ假令如何ニ強者多數アリト雖モ委員諸君ハ我ガ天神地祇ニ盟ヒテ正義人道ヲ無視ス可ラス必ズ我國ノ主張ヲ貫徹シ國威ヲ萬邦ニ輝ス可シ茲ニ吾人等国民ノ輿論ヲ縛陳シ大ニ講和委員ノ後援ヲサント欲ス當向大臣公使ト在佛講和委員ニ打電アラント希フ

二 衆議院議員選舉權ハ国民義務教育ヲ履修セル(同等以上ノ識見アル者)成年男子ニシテ忠良臣民ニ普ク附與セラレシコトヲ希望ス但レ細則ハ衆議院ニ依ル

セラレシコトヲ希望ス但レ細則ハ衆議院ニ依ル

三 現下悲境ニ沈淪セル農民救護ノ方法トシテ左記事項ヲ實行シ以テ食糧自給ノ基礎ヲ確立シ國家百年ノ安泰ヲ畫策セラレシコトヲ欲ス

一 一般諸物價ノ調節ヲ以テ農業資本ノ輕減ヲ計リ國產獎勵ノ主旨ヲ以テ農民救護ノ政策ヲ講セラレシコトヲ希圖スルニテリ

二 農業家ノ勞働賃金ヲ相當補給シ商業工業家ノ勞働賃金ト大約均等ニ近カラシメ以テ農業勞働者ヲ増カスルコト

三 農業用器具ノ價格ヲ低廉シ新式農具ヲ一般ニ使用セシメ農事ノ改良ヲ謀リ資金ノ輕減ヲサスルコト

四 肥料價格ヲ低廉シ農業家ヲシテ適度ノ施肥ヲ成カシムルコト

五 官有溜池及水利溝渠ヲ新設シ或増設シ農民ヲシテ水田ノ増加ヲ計ラシムルコト

MT

11246

000779

MT

11246

00778-1

六、開墾及變換ニ要スル費用十分ノ六以内補助ヲナシ耕地増加ヲ
運策スルト其他耕地整理法ヲ簡易ニ補助ヲ適度ニ増加シ
農民ノ部分ト雖モ速カニ耕地増加ヲ致サシメ微力ノ細民ヨ大ニ
保護シテ收穫物ヲ増額セシムコト

理由

一、伏シテ惟ルニ我帝國ハ憲法第廿一條ニ明記シテ陸海軍ノ编制
及常備兵額ヲ定ムル權力ハ決シテ他國ノ關涉ヲ受ケサルコトヲ言
明シ大ニ我國權ヲ擴張スベシ尙正義人道上世界各國ノ門戸
開放機會均等主義ヲ貫徹ス可シ我國幸ニ五大強國ノ一班ニ
列ストモ世界ノ弱民族ノ權利ヲ尊重擁護シ世界人類
爲メ高尚勇雄ナル計畫ヲ具行シ我帝國ノ光輝シラ世界ニ發
揚シ世界ノ文明國ト恒調一致シテ永遠ノ平和ノ組織者タル使命
ヲ負徹セシメラレシトヲ懇願ス

MT 11246 000780

二、畏クモ我國體ハ三千年ノ古ヨリ上下一致和衷恒同以テ國政ヲ
統理セシ由緒アリ我國ノ大古史ニ覽ルニ是以八百萬神於天之安
河原神集而高御產靈日神之子思金神令思而集常世長
鳴鳥令鳴而々々又何由以天宇受賣者爲樂亦八百萬神諸
咲爾宇受賣自言益汝命而貴神坐故歡喜味樂不如此
言之則云々又於是八百萬神共議而於速須佐之男力命員
千位置戸亦切斷及々足八令拔リ神夜良比夜良比岐ノ章
アリ是ヨ以テ之ヲ觀レバ上古ヨリ我國民ハ普通參政權ヲ有シ君
民共治ノ不文ノ立憲君主政体ナリシト歴然ナリ又歷代聖帝
ハ民ハ國ノ本ナリト詔セサ又給ヒ明治天皇ハ憲法發布ノ上諭ニ
臣民ノ權利實ニ依リ與ニ俱ニ國家ノ進退ヲ扶持マシト望ミ給フ
又後段ニ將來ノ臣民ハ此ノ憲法對シ永遠ニ從順ノ義務ヲ負ヘシ
ト宣ヒ賜フ加之今上天皇陛下ノ詔勅ヲ捧讀スルニ上下心ヲ一ニシ

MT 11246 000781

和表悞同シテ忠誠ヲ致スベクト宣ヒ給フ我等國民タル者誰カ匪躬
節ヲ効シ夙夜淬勵シ邦家ノ進運ヲ扶翼シ以テ歷代ノ皇帝ノ
聖旨ニ答ヘ奉ラント欲セサル者ヤランヤ故ニ我國民ニシテ義教力
教育ヲ履修シ我國体擁護ト憲法對シ永遠ニ從順ノ義務
トヲ造次顛肺モ怠ラサル忠良ノ臣民ニ對シ參政權ヲ附與スル公實
ニ當然ノ義務ナリト信ズ當テ爾ク義教ヲ履行セル者必ズ權利ヲ
權利アル者必ズ義務アリト是レ我國大古ヨリ現今ニ通シテ原則
洋ノ東西ヲ論ヤズ天下ノ真理ナリ此見地ヨリニ我國体擁護ノ
重大義務ト憲法ニ對シ永遠從順ノ最大義務トヲ盡シツル
忠良ノ臣民ニ參政權ヲ附與スル是レ亦正當ノ真理ナリト信ズ
如上理由ニ依リ政見明ナル當局者ノ速カニ普通選舉法ヲ設
シ我等國民ヲシテ相^當ニ陛下ノ和表悞同シテ忠誠ヲ致ス
ベクト宜ヒ賜ヘル聖旨ニ獎順^{マサセ}給ハントヲ哀願ス

MT 11246 000782

三 願ミル宇内ノ形勢勢ハ敢テ臣庶ノ懈怠^レ慢^ヲ容サズ
刻下食糧危機頻シシナリ故ニ吾人敢テ赤ベテ披瀝シテ冀
求ス宜シリ當局者ハ速カニ糧食自給自足ノ實ヲ興^テ給ハ
ントヲ

一 我等國民ハ竊カニ懼ル我國中産階級以上ト自任セル者及ビ其本
家算利己的觀念ヲ放鄭シテ我國大古聖哲時代ノ平等思想
ヲ喚起スシ然ラズニ或ハ思想界ニ大變遷ヲ惹起シ憲政
内ニ紊亂レ國威外ニ失墜セリトテ是レ吾人ガ 聖旨日ヲ奉^テ休シ
陛下ニ忠誠ヲ盡サント欲シ茲ニ憲法第三十條ニ依リ敢テ哀
願スル所以ナリ 誠惶誠恐 謹言

大正八年二月廿八日

岡山縣小田郡大井村大字東大戸四五三番地
平民農 田中岩太郎

明治四年九月十三日生

MT 11246 000783

全縣全郡全村全大字 四〇二三番地
平民農 永 廿 全 平

明治七十四年四月二十五日生

全縣全郡全村全大字 三九一二番地
平民農 高 橋 寛

慶應二年十月十五日生

全縣全郡全村全大字 一六三四番地
平民農 三 好 嘉 作

慶應元年正月八日生

同縣同郡同村大字 同所一九一三番地
平民農 大 平 定 次 郎

明治七年七月廿五日生

全縣全郡全村全大字 〇九九番地
平民農 二 寸 屋 仁 太

明治四十四年十二月二十日生

全縣全郡全村全大字 〇八六番地
平民農 藤 井 長 右 衛 門

明治五十五年十月十日生

全縣全郡全村全大字 四五四番地
平民農 田 中 村 次 郎

元治元年九月十日生

全縣全郡全村全大字 四五一三番地
平民農 田 中 村 次 郎

明治貳年九月廿九日生

全縣全郡全村全大字 四一四番地

MT 11246 000785

MT 11246 000784

平民農 田中章一
萬延元年九月拾四日

全縣全郡全村大字全一六四六番地

平民農 田中壯海
明治元年五月十八日

全縣全郡全村大字全一六四六番地

平民農 田中常一郎
明治元年五月十八日

全縣全郡全村大字全一六四六番地

平民農 田中太作
嘉永五年正月八日

全縣全郡全村大字全一六四六番地

大平貫
文久元年四月拾貳日生

全縣全郡全村大字全一六四六番地

大平丹二
明治拾貳年八月廿五日

全縣全郡全村大字全一六四六番地

大平堯一
明治拾八年正月貳拾九日

全縣全郡全村大字全一六四六番地

三好關太郎
明治元年拾貳月十八日生

全縣全郡全村大字全一六四六番地

三好佐太郎
安政四年五月廿貳日生

MT

11246 000787

MT

11246 000786

全縣全郡全村大字東大戸一六九番地
平民農 田中久

明治卅三年五月十七日

全縣全郡全村大字一六三番地
平民農 三好好三

明治卅三年八月分

全縣全郡全村大字四六八番地

平民農 田中才次郎

明治十年一月四日

全縣全郡全村大字五五八番地

平民農 本村成太郎

安政五年九月貳拾九日

全縣全郡全村大字西八九番地
平民農 藤井源次

慶應元年四月廿五日

全縣全郡全村大字一四番地

平民農 藤井源次

明治三十四年九月十日

全縣全郡全村大字一七番地

平民農 藤井源次

明治九年參月

全縣全郡全村大字東大戸一六番地

平民農 藤井健助

明治拾年七月三日

11246 000789

MT

11246

000788

内閣総理大臣原敬閣下

11246 000790

REEL No. 1-0067

0478